

7月14日梅雨前線による耶馬溪ダムの洪水調節操作とその効果

1. 概要

今回の豪雨はダムの管理開始以降4番目に多い流入量を記録しましたが、それに対し洪水調節を適切に操作した結果、下流の上曾木観測所地点(中津市本耶馬溪町青地区)では約45cmの水位を低下させる効果があったものと推測されます。

2. 洪水操作状況

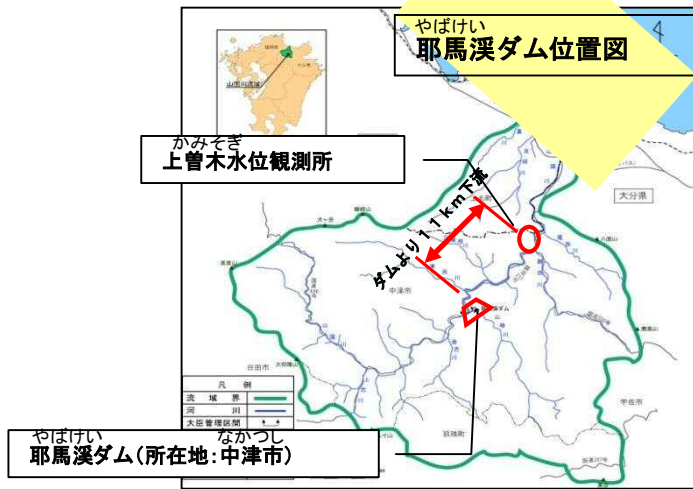
別紙のとおり。

【問い合わせ先】

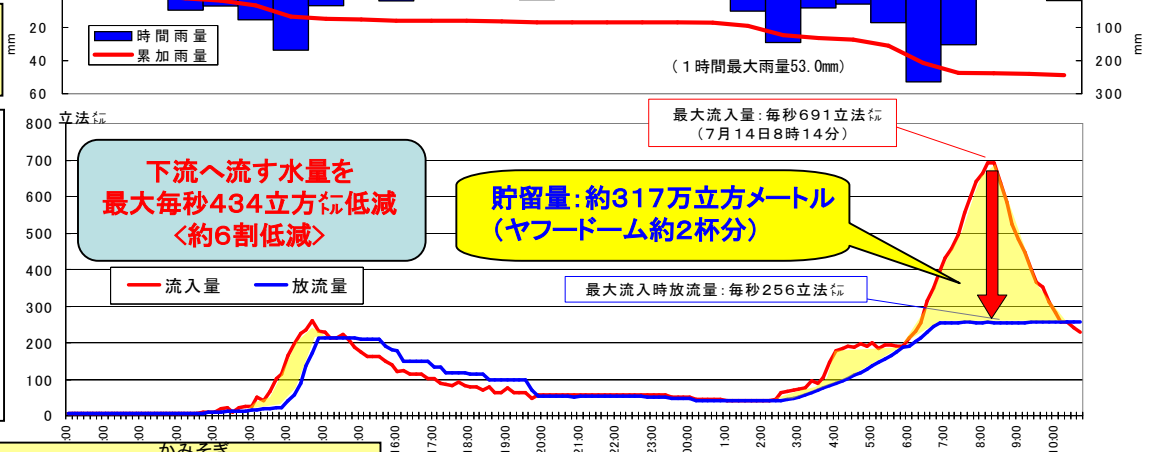
国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所
技術副所長 宮崎 寛章
TEL:0979-24-0571(代表)
FAX:0979-24-1985

耶馬溪ダムの洪水調節操作とその効果(平成24年7月14日 梅雨前線) ~山国川 河川水位 約45cm低下~

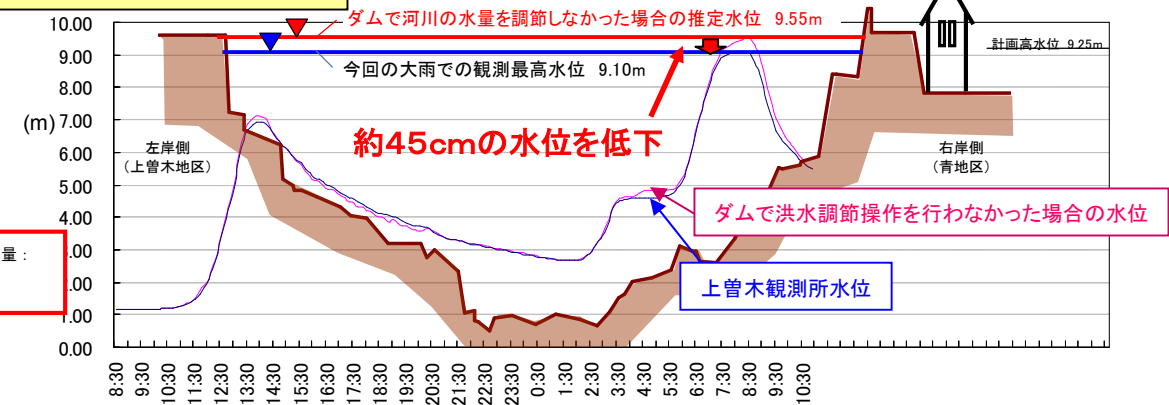
- 山国川水系耶馬溪ダムの上流域において、1時間雨量で53.0mmの雨量を観測し、最大流入量は毎秒約691立方メートルに達し、**ダムの管理開始以降4番目に多い量を記録**※しました(平成24年7月14日)。
- 今回の洪水調節操作において、操作規則どおりの適切な操作を行うことで**約317万立方メートル(福岡ヤフドーム約2杯分)の水をダムに貯留**し下流の河川へ流す水量を最大で**毎秒約434立方メートル(約6割)低減**しました。
- この結果ダム下流の上曾木観測所地点(大分県中津市本耶馬溪町青地区)では**約45cmの水位を低下**させる効果があったものと推測されます。



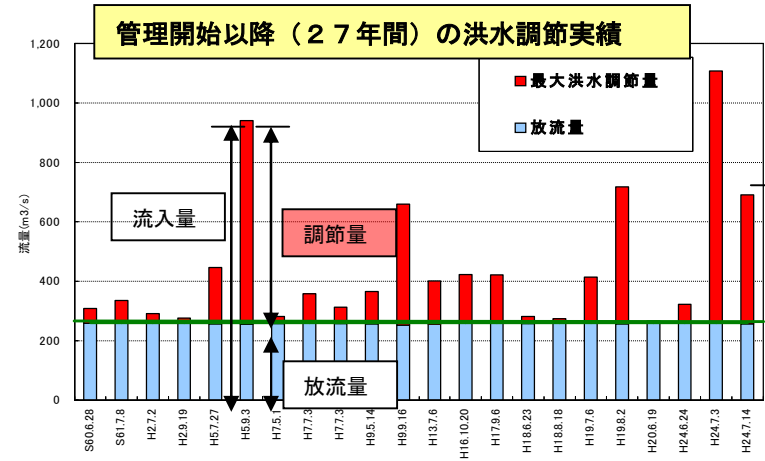
洪水調節
操作図



河川の水位状況(上曾木水位観測所)



※下流の青地区では無堤部のため氾濫被害が発生しましたが、ダムで貯留したことにより、約45cmの水位低下効果があったものと推測されます。
 ※数値は速報値のため、今後変わる場合があります。



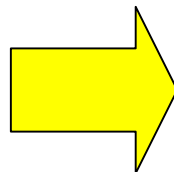
山国川 河川水位 約0.45m低下 ～耶馬溪ダムの洪水調節操作とその効果～

平常時



洪水操作前水位 161.11m

ダムへ貯めた水量



今回

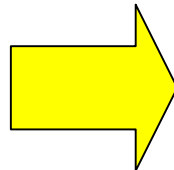


今回の操作中最高水位 166.24m(7月14日10時00分頃)

ダムへの流れ込み



平水時の状況 (流入量毎秒約1立方メートル)



7月14日の状況 (流入量毎秒約250立方メートル) 9時30分頃
最大流入量：毎秒約470立方メートル (7時50分頃)